

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号44S020L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施設介護サービスの実施
	概 要	介護保険法およびサービス計画に基づき、利用者のニーズや身体状況に合った適切な施設介護サービスを提供する能力

共通

施設運営・統括

施設介護サービス

相談・援助

能力細目	職務遂行のための基準
①サービス実施のための事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 決められたルールに基づき、環境整備を適切に行っている。 ○ 担当する利用者情報を確認・把握し、必要な情報はミーティング等で共有化している。
②施設介護サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な介護技術・知識を有し、決められた内容のサービスを、決められた手順で確実に実施している。 ○ 利用者のニーズや気持ち、身体状況の変化等に気を配り、見守り・声かけをし、異変があれば対応のルールに基づき迅速・的確に対応している。（例：咳やむせこみの場合には強さや顔色等を観察し声かけをする・タッピングを行う・それでも改善しない場合医療職へ連絡するという順で適切な対応をする、皮膚の異常の場合には症状を観察し原因を確認するとともに必要に応じて医療職へ連絡する、緊急事態発生時には事業所に連絡を入れる等。） ○ 利用者のプライバシーに配慮している。 ○ 利用者の身体機能や症状、状態に合わせた適切なケアの方法や手順を確認している。 ○ 常に利用者の安全に気を配りながら、サービスを実施している。 ○ 利用者と適切なコミュニケーションをとりながら、サービスを実施している。 ○ 利用者の残存機能、動作能力を把握し、自立支援を目指したケアや活動を心がけている。 ○ 利用者の健康の状態や介助時の状態等を観察し、必要に応じて記録し、上位者や医療職等にすみやかに報告している。
③サービス実施後の後片づけ、および情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ○ サービス実施後は、片づけ、清掃を行うとともに、引継ぎの準備等を行っている。 ○ サービスの実施内容や利用者の状況等について、振り返りを行っている。

●必要な知識

1. 介護保険法の知識 ・介護保険の範囲内で行えるサービス、制約 2. ケアマネジメントに関する知識 ・ケアマネジメントのしくみ、機関とその役割 ・アセスメントとケアプラン ・介護計画 ・職種間の連携 ・フォーマル、インフォーマルサービス 3. サービスプロセス 4. 介護職の倫理と職務 5. 受け入れの際に確認すべき事項についての知識 6. サービス実施の手順や留意点についての知識 ・入浴、食事、排泄、整容、水分摂取 ・レクリエーション、アクティビティ、機能訓練 ・看取り介護	7. モニタリングの意義 8. サービス担当者会議やケアカンファレンスの意義 9. 観察、記録 10. ソーシャルワークに関する知識 11. 障害と疾病に関する基礎知識 12. 認知症に関する基礎知識 13. 生活支援の理念 ・QOL、自立支援、介護予防 14. 介護基本知識 ・職務の理解、介護における尊厳の保持・自立支援、 介護の基本、介護・福祉サービスの理解と医療の連携、 介護におけるコミュニケーション技術、老化の理解、 認知症の理解、障害の理解、 こころとからだのしくみと生活支援技術、振り返り
---	---